

大学・企業と連携し 実社会でグローバルに活躍できる女性リーダーを育成

A 国際的素養とキャリアデザイン力の育成

女性のグローバルなキャリアデザインに対する 課題解決プロジェクト

LABO1：『企業や個人で活躍する 女性グローバル・リーダーの研究』

グローバルに事業を展開している(株)富士ゼロックスで働く女性社会人をモデルとして、グローバルなキャリアデザインについて研究し提言する。
【指導：富士ゼロックス常勤監査役 日比谷 武氏】

【活動内容】

6/3	講演「働くということ①」
6/17	訪問：富士ゼロックス株式会社
7/1	講演「働くということ②」
7/12	ディスカッション「女性が働くということ」
7/23	訪問：富士ゼロックス株式会社みなどみらい事業所
11/8,9	昭和祭(文化祭)において、活動報告
11/11	訪問：富士ゼロックス株式会社竹松事業所
11/15	ディスカッション「国際社会での経験を活かす女性リーダーの視点を学ぶ」
1/9	ディスカッション「グローバル社会で輝く女性リーダー」

LABO2：『日本人女性の ジェンダーギャップの研究』

日本人女性のジェンダーギャップの現状を知り、女性がグローバルにキャリアデザインを形成する方法を研究・提言する。

【指導：臨床心理士・スクールカウンセラー・学術博士 井上 直美氏】

【活動内容】

6/14	講義「ジェンダーについて」
7/1	討論：ジェンダーの定義について
7/12	討論：ジェンダーギャップ指数、新聞記事におけるジェンダー
7/19	計画：フィールドワークの計画と確認
8/12,19	フィールドワーク：東京ウイメンズプラザ訪問、ライブリサーチ等
10/31,11/1,6-9	昭和祭(文化祭)にて活動報告
11/18,12/2	昭和祭の振り返り、講師からのアドバイス
12/16	用語集・アンケート作成、冬休みに行うインタビューの確認、公開研究会のテーマ決め等

LABO3：『海外で活躍する女性リーダーの研究』

5/22	講義「カンボジアの現状・諸問題・国際協力」
6/6	インタビュー：「アジアで花咲かす！なでしこたち」番組プロデューサー 原田由香里氏
7/1	ディスカッション：Eテレ「スーパープレゼンテーション」を視聴、プレゼンについて学ぶ。
7/5	プレゼンテーション：途上国が置かれる現状について各自のテーマで調べ、発表。
夏休み	インタビュー：ディスカッション：「JICA地球ひろば」等を訪れ、途上国支援をしている方々とのフリートークやインタビュー。
10/15	講義：夏休みに行われた「カンボジア研修の実施踏査」に関して、現状報告。
11/8	昭和祭(文化祭)において、活動報告。
11/18	ディスカッション：グローバル女性リーダーの具体例を挙げ、その特徴について話し合い。
12/11	インタビュー：日本アフリカ協議会理事を訪問し、反アパルトヘイト活動について伺う。

カンボジア支援のため、現地でクッキーやハーブ等の工場を起業して現地の方を雇用し、持続的な経済的自立を支える日本人女性グローバル・リーダーの仕事に密着。途上国支援の方法を体得し提言する。

【指導：昭和女子大学 米倉 雪子 准教授】



課題研究

課題研究以外の 研究開発

LABO4：『途上国女性の社会進出課題』

バングラデシュ、タイ、ラオスで、社会的弱者になっている女性たちの現状問題点を学び、途上国女性のキャリアデザインについて研究し支援する。

【指導：昭和女子大学 興梠 寛特任教授】

【活動内容】

6/13	講義「私ってだれ？～私が変わる、社会は変わる～」
7/11	講義「途上国のストリートの子供たちに学ぶ」
10/17	生徒発表：「フェアトレード」
10/24	講義「調査レポート～アジアの少数民族の村から～」
11/8,9	昭和祭(文化祭)において、活動報告
11/21	講義「途上国の女性がかかえる問題をKJ法で考える」
12/10	講義「途上国の女性が抱える問題の解決方法を考える」

高大連携グローバルプログラム

連携大学を中心に 様々な分野を研究する講師による オムニバス形式の講義

国際協力、国際機関への道

上智大学理工学部 暁道佳明教授による講演。国際協力のとらえ方やグローバル人材の資質など、国際協力を目指す指標となる話を伺った。

グローバル経済について

元JAL 副社長 竹中他氏による講演。グローバル化のメリットとデメリットを学び、日本人として世界に誇れる能力を考える。

宇宙・人・夢をつなぐ

宇宙飛行士 山崎直子氏による講演。宇宙飛行士への道のりや次世代を担う生徒たちへのメッセージなどを語っていただいた。

自己発見プログラム

現地に足を運び、国内外の実情を学ぶ 選択制国内外研修旅行

ベトナム・マレーシア・オーストラリアへ

現地で活躍する日本人女性による講演、現地日本人学校生徒との交流、地域活動(マンゴローブ植樹、森林研究ツアー、ファームスティ等)

【年間スケジュール】

平成26年4月	事前調査	情報収集に基づき研修先を決定
4~7月	事前学習	コースごとの学習、平常教育など
	合同勉強会	講演会「地域調査の方法を学ぶ」
夏休み	各自研究レポートを作成	研修先の地域調査
	個人研究テーマの決定	
9~11月	事前学習・準備	
	合同勉強会	講演会「平和とは何か」
12月	現地調査(研修旅行)	
1月	事後報告	個人レポートの提出と発表
	振り返り	アンケート実施、結果分析

広島・関西・沖縄へ

広島被ばく体験者や沖縄戦争体験者による平和講演、地域活動(座禅体験、伊江島民泊体験など)

【生徒の感想】

一人の日本人として、過去にあった戦争の事実から目をそむけてはならない。一人ひとりが平和のランナーとして、この研修旅行で学んだ戦争の事実や感じたことを、自分の周りの多くの人たちに伝えていきたい。

多面的なプログラムにより「国際的素養」「国際的教養」「人間性」を磨く

B サービスラーニングによる人間性の涵養

社会奉仕体験を通して 主体性 協調性 責任感 忍耐力などの 人間性を育む

活動するグループを編成

6つの大きなテーマを設定し、このテーマに関心のある生徒がクラスでそれぞれ集まり、5~7人のグループを作り、各クラス6~7グループが編成された。

[6つのテーマ]

I 地球・環境	II 子ども・教育	III 高齢者・介護
IV 保健・医療	V 貧困・経済	VI その他

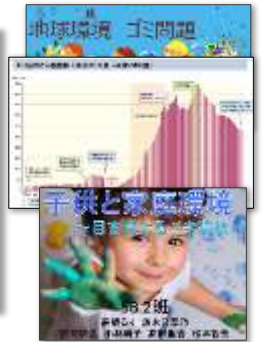
ボランティア活動

夏季休暇を利用して、実際に社会奉仕活動に参加し、現場の実情や課題などについてまとめ、プレゼンテーションを行った。

【取り組んだボランティア活動(例)】

大テーマ(1~VI)	具体的テーマ	場所(団体)	活動
I 地球・環境	植林活動	多摩川水辺森林緑	森林保全活動
II 子ども・教育	国際交流・外国の子供たち	ボランティア	途上国の子供支援
II 子ども・教育	日本の保育・子供問題	保育園	保育の手伝い
III 高齢者・介護	高齢者介護の現状	社会福祉法人ホーム	介護手伝い
IV 保健・医療	献血・献血	東京都赤十字血液センター	献血ルーム
V 貧困・経済	女性や子供の貧困	フリーザ・チルドレン・ジェネーション	物資配達作業
V 貧困・経済	ホームレス支援	上野公園	炊き出し
VI その他(震災)	自分たちができること	宮城県仙台市	復興支援

【プレゼンテーション資料(例)】



学びのプロセス

6つの学びのプロセスを経ることで、「人のために尽くす」というものの見方や理解を深め、自らの役割を果たしていく達成感(自己肯定感・有用感)を味わうとともに、自らの生き方を探求していく。

- ①関心
テーマ決定
グループ作り
- ②調査
事前学習
基礎知識の学習
- ③企画・発表
意見交換
計画書作成
- ④実践
ボランティア活動
気づく・学ぶ
- ⑤報告
プレゼンテーション
報告書作成
- ⑥提言
伝える・広げる
深める

英語教育・国語教育

ICT教育

電子黒板(デジタル教科書)、CALL 教室、タブレットPCの活用。

Let's Discuss

“Design for the Other 90%”
途上国の人たちにどのような協力ができるかを考え、英語でプレゼンテーション。

CNN ニュース教材

英語の授業では、オーセンティックな素材として、CNN News を活用。ネイティブスピーカーの教員が English room の運営やスピーチコンテストなどを運営。

ディベート力 国語力

国語科の授業にディベートを取り入れることで、「思考し、判断し、表現する力」を育成。異文化理解と日本人としてのアイデンティティを確立する。